

本一色学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

本一色小学校長 和田 敏郎
コーディネーター 吉野 誠司

2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	15人
	学生ボランティア	1人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月2回(隔週水曜日)	14人
図書館壁面装飾	月1回(第1木曜日)	8人
農園整備	今年度はコロナウイルス感染症の影響のため、活動中止。	1人

整備していただいた学校園



図書館壁面装飾ボランティア作成の装飾



読み聞かせボランティアの活動



4 今年度の成果と課題

<成 果>

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症の影響のなか、感染症対策を講じながら、活動を行った。
- ・月2回、水曜日の朝の時間に保護者の方が本の読み聞かせをしてくださっている。読み聞かせを通して子どもたちは本に親しみをもつようになっている。
- ・図書館装飾ボランティアの方々は、季節に合った装飾で、図書館を居心地のよい空間にしてくださっている。また、使いやすい図書館を目指し、図書の整理にも取り組んでくださり、図書館が活用しやすくなった。
- ・地域の方から貸していただいている学校園での活動は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。しかし、区が防草シートを張る工事を施工していただいたおかげで、除草や畝作りなどの作業は行わずに済んでいる。

<課 題>

- ・学校応援団の取り組み活動内容を保護者や地域の方に周知しているがメンバーが集まりにくいことが課題である。学校便りやホームページ等で広くその活動内容を知らせ、関心をもっていただく。
- ・学校応援団メンバーを増やしていくために、参加しやすい組織作りや運営方法などを改めて考えていく。

5 コーディネーターより

今年度も地域の皆様、保護者の皆様にご協力いただき、学校応援団の活動が行われました。子供たちの健やかな成長を支えるため、感染症対策に取り組みながらの活動となりました。

今後は、多くの方に学校応援団の仕組や活動について、協力していただくことが必要です。地域・保護者・学校が協力して関わっていくことが大切であると思っております。

今後も、PTA・学校と連携を深め、学校の活動に協力できるような充実した活動が展開できるようにしてまいります。ご理解とご協力をよろしく願いたします。

6 学校長より

今年度も昨年度に引き続き、感染症の影響が大きい年になってしまいました。それでも、学校応援団の皆様は、読み聞かせや学校図書館整備など、子供たちの健全育成のために活躍して下さいました。また、ゲストティーチャーや動画で授業に協力して頂いた方も多くいらっしゃいました。子供たちにとって地域や保護者の方との学習は、自分の生活に結びついた学習になるので、学習意欲の向上につながります。ご多用の中、今年度も本校の教育活動にご支援、ご協力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。